

さつま町ものづくり企業見学会が南日本新聞に掲載されましたので紹介します。



地元製造業の 技術力を体感

薩摩中央高3年生

さつま町や町内の製造業15社でつくる「町ものづくり企業振興会」は6月30日、薩摩中央高校(同町)の3年生を対象に企業見学会を

開いた。地元就職率の向上が狙いで4回目。15人が3班に分かれ、2社ずつ訪問して説明を受けた。

中国、タイに拠点を持つ寿精密(和歌山県)の鹿児島工場を訪れた5人は、千分の1ミリの精度で金型を加工する現場を見学した

写真。農業工学科の山迫妃波美さんは「技術力の高さに驚いた。進路選択に生かしたい」と話した。

小田和浩工場長(55)は「地元にも世界に通用する企業はある。関心を持ってもらえたらうれしい」と話した。見学会では同社のほかに井川産業、サトウ精工、日特スパークテックWKSが生徒を受け入れた。(右田雄一)